

Cisco Migration FX ソリューション

最終更新日: 2018 年 5 月 31 日

このデモンストレーションについて

このデモンストレーションでは、Tiger Prism ソリューションの機能を説明することができます。

- [要件](#)
- [このソリューションについて](#)
- [トポロジ](#)
- [セッション ユーザ](#)
- [はじめに](#)
- [セッションの保存](#)
- [シナリオ 1: ゼロ タッチでの移行](#)
- [シナリオ 2: 電話サービスとしての MigrationFX](#)

要件

次の表に、事前に設定されたこのラボでの要件を示します。

表 1. 要件

必須	オプション
<ul style="list-style-type: none"> • Cisco AnyConnect がインストールされているラップトップ • ルータ (Cisco dCloud 用に登録および設定済み) • 「シナリオ 1: ゼロ タッチでの移行」用に以下の Cisco IP Phone のいずれか: <ul style="list-style-type: none"> ○ 794x、796x、または 78xx ○ 88xx、89xx、または 99xx 	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco SX、DX、または EX TelePresence デバイス。シナリオ 2 のみで使用し、ゼロ タッチでの移行はサポートしない

このソリューションについて

Cisco MigrationFX を使用することにより、最新のシスコの電話テクノロジーへとすばやく、かつ簡単な方法で移行することができます。MigrationFX により、1 回の大規模な配送のみで新しい電話を手配し、各ユーザが古い電話を取り外して、新しい電話を接続します。エンジニアが現場での作業、個々の電話の設定、MAC アドレス、Cisco UCM へのデータ ファイルのアップロードを行う必要はありません。

Cisco MigrationFX の詳細については、製品 [ソリューションのページ](#) を参照してください。

トポロジ

このラボには、いくつかのエンタープライズ サーバ VM が含まれます。ほとんどのサーバは、管理者レベルのアカウントを使うことで自由に設定できます。管理者アカウントの詳細については、関連するスクリプトの手順およびサーバ詳細表で説明しています。

図 1. デモンストレーションのトポロジ概要



表 2. サーバ情報

アプリケーション	バージョン	URL	ユーザ名	パスワード
Microsoft Active Directory サーバ	2012 R2	198.18.133.1	administrator	C1sco12345
Microsoft Exchange Server	2012 R2 および Exchange 2016	198.18.135.52	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite	15.6.1	https://tms1.dcloud.cisco.com	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite Extension for Microsoft Exchange	5.6	198.18.135.36	DCLOUD\administrator	C1sco12345
Cisco Expressway – Controller	X8.10.4	https://vcsc.dcloud.cisco.com	admin	dCloud123!
Cisco Expressway – Expressway	X8.10.4	https://vcse.dcloud.cisco.com	admin	dCloud123!
Cisco Unified IM/Presence サーバ	12.0.1.10000-12	https://cup1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco Unified Communications Manager	12.0.1.21900-7	https://cucm1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco Emergency Responder	12.0.1.20000-4	https://cer1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco Jabber Guest サーバ	11.1.0	https://jabberquest.dcloud.cisco.com	admin	dCloud123!
PostgreSQL Message Archiving サーバ	CentOS 7.1.1503	198.18.134.29	Root	dCloud123!
Cisco Meeting Server	2.3	https://198.18.134.175:445	admin	dCloud123!
Cisco Unified Attendant Console Standard	12.0.2.2990	N/A (Wkst1 にローカルにインストール)	該当なし	該当なし
Cisco Unified Attendant Console Advanced	12.0.1.1611	https://cuaca1.dcloud.cisco.com	ADMIN	dCloud123!
Cisco Prime Collaboration Assurance	12.1	https://cpa1.dcloud.cisco.com	globaladmin	dCloud123!
Cisco Prime Collaboration Provisioning	12.4	https://pcp.dcloud.cisco.com	globaladmin	dCloud123!
Cisco Unity Connection サーバ	12.0.1.21900-10	https://cuc1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco WebEx Meetings Server	3.0.1.27.C-AE	https://meetingsadmin.dcloud.cisco.com	amckenzie@dcloud.cisco.com	C1sco12345!
UnifiedFX Migration FX サーバ	3.0.1.532	http://198.18.1.39:8181/AutomationFX/#/app/parameters	administrator	dCloud123!
Imagicle	2018.1.1	http://198.18.135.54/fw/frame/login.asp	admin	dCloud123!
Citrix Xen Desktop	7.13	http://xendesktop.dcloud.cisco.com/citrix/storeweb/	DCLOUD\ <username>< td=""> <td>dCloud12345!</td> </username><>	dCloud12345!
VMware ESXi (Workstation 1)	6.0.0	198.18.1.36	DCLOUD\amckenzie	dCloud12345!
Tiger Prism サーバ	2017.3.001.6098	https://tiger (ワークステーション 1 から)	DCLOUD\administrator	C1sco12345
Open Filer サーバ	ESA 2.99.1	198.18.135.39	openfiler	dCloud123!
Cisco Meeting Manager	1.0	198.18.135.56 または https://cmm.dcloud.cisco.com	administrator	C1sco12345
Bucher + Suter Connects for Salesforce	4.0	N/A (Wkst1 にローカルにインストール)	該当なし	該当なし
Workstation 1	Windows 10 Pro	198.18.1.36	DCLOUD\amckenzie	dCloud12345!
Workstation 2	Windows 10 Pro	198.18.1.37	DCLOUD\aperez	dCloud12345!
Workstation 3	Windows 10 Pro	198.18.1.38	DCLOUD\mcheng	dCloud12345!
CSR Workstation	Windows 10 Pro	198.18.1.39	DCLOUD\chegarty OR DCLOUD\wwhitman	dCloud12345!

セッション ユーザ

表 3. セッション ユーザ情報

ユーザ名	ユーザ ID	パスワード	ロール	エンドポイント デバイス	電話	内線番号
Walt Whitman	wwhitman	dCloud12345!	UC 管理者	表 1 に記載されたエンドポイント デバイスのいずれか	+1 972 555 1083	1083

はじめに

デモンストレーションの前に

Cisco dCloud では、実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、アクティブなセッションを使用して、このドキュメントのタスクを実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとコンテンツの構成に慣れることができます。

お客様向けプレゼンテーションを成功させるためには、入念な準備が不可欠です。

次の手順に従ってセッションをスケジュールし、環境を設定します。

1. dCloud セッションを開始します。[\[手順を見る\]](#)

注:セッションがアクティブになるまで最長で 45 分かかることがあります。

2. [表示 (View)] をクリックして、アクティブ セッションを開きます。
3. **ラップトップに Cisco AnyConnect** をインストールし、dCloud ユーザ インターフェイスで表示される AnyConnect クレデンシャルを使用して、アクセスします。[\[手順を見る\]](#)
4. ルータとラップトップを接続します。[\[手順を見る\]](#)
5. 最適なパフォーマンスを得るために、**Cisco AnyConnect VPN** [\[手順を見る\]](#) およびラップトップのローカル RDP クライアントを使用してワークステーションに接続します。[\[手順を見る\]](#) このデモンストレーション用に複数のラップトップ PC を使用する場合は、1 台ずつ各ワークステーションに接続します。
 - **CSR ワークステーション** – IP アドレス: **198.18.1.39**、ユーザ名: **dcloudwwhitman**、パスワード: **dCloud12345!**
 - デスクトップで Cisco Jabber アイコンをダブルクリックしてログインします。
6. **オプション:** セッションにカスタム ユーザを追加します。これを実行するには、セッションの「リソース (Resources)」セクションにある、『**Cisco Prime Collaboration プロビジョニングと独自で行うデモ**』デモンストレーション ガイドを参照してください。
7. **Cisco Unified Communications Manager** に搭載された**セルフプロビジョニング**機能を使用して、このデモンストレーションの電話をプロビジョニングします [\[手順を見る\]](#)。電話のプロビジョニングには、表 3 の内線番号を使用します。
 - Walt Whitman は、**内線 1083** で、表 1 にある**いずれかのシスコ デバイス**を使用できます。
8. **オプション:** 設定の移行を示すために、自分の IP フォンで回線設定や短縮ダイヤルを設定します。[\[手順を見る\]](#) [英語]

セッションの保存

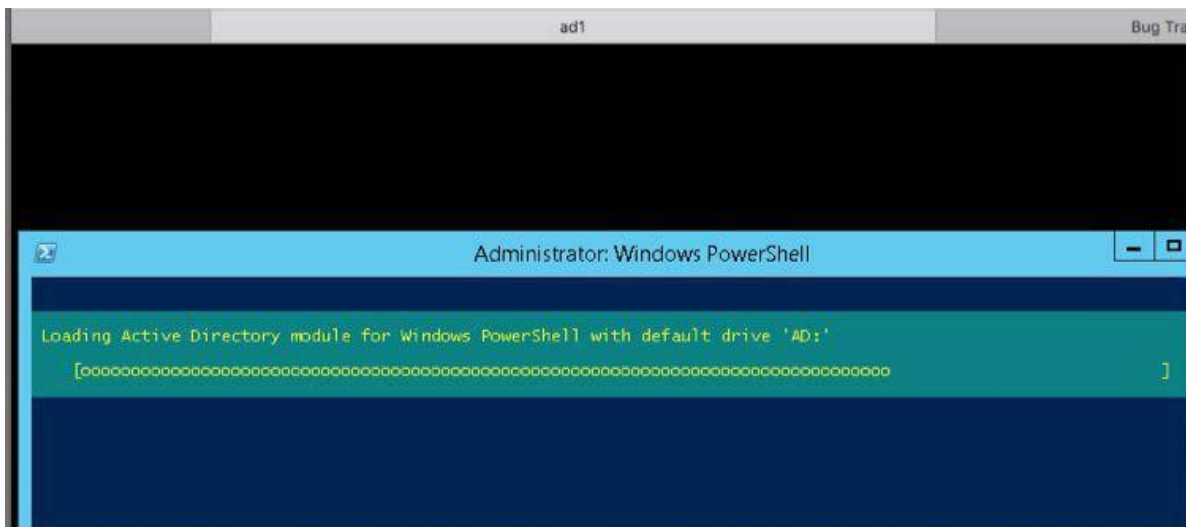
このデモンストレーションのカスタム バージョンを保存するには、次の手順に従う必要があります。カスタム バージョンを保存するには、次の手順に従います。デモのセットアップの一環としてこれを実施しないでください。これを実施するのは、セッションを終了したときのみです。

パブリックにルーティング可能な IP アドレスはデモ セッションごとにダイナミックに割り当てられるため、デモを保存し新しいインスタンスを起動すると、以前取得したものと異なるドメインおよび IP が割り当てられると想定されます。そのため、デモンストレーションを保存するたびに、下記の手順を繰り返す必要があります。この手順は、Collaboration Edge 関連の設定をリセットし、デモンストレーションを正しく保存できるよう準備するために実行する必要があります。

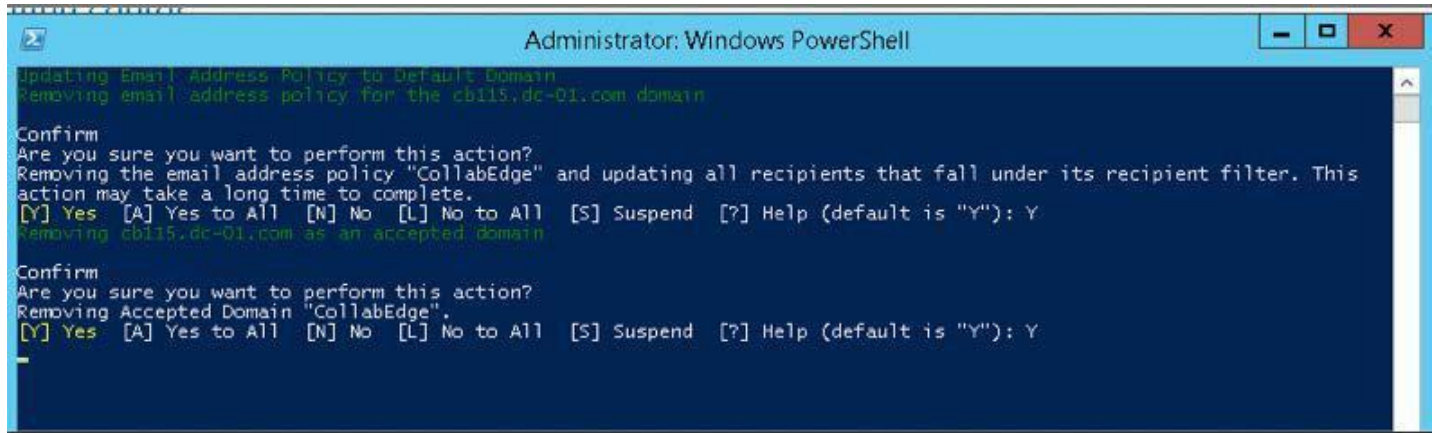
重要: 下記の手順に従わなかった場合は、保存されたデモンストレーションが破損し、Collaboration Edge 機能が動作しなくなります。このようなシナリオでは、保存されたデモンストレーションを修復できず、変更やカスタマイズがすべて失われます。

注: ワークステーション 2 を変更した場合、その変更がデモンストレーション ガイドに記載されている内容以外の場合は、保存プロセスが失敗する可能性があります。このような原因で破損したセッションは回復不能です。

1. ラップトップ上のローカル RDP クライアントを使用して、デモンストレーション用の **ワークステーション 2 (198.18.1.37)** にアクセスします。
[手順を見る] ユーザ名: **dcloud\aperez**、パスワード: **dCloud12345!** でログインします。
2. CMD コンソール ウィンドウを開き、**ResetCerts** と入力します。
3. Collab Edge 証明書のリセットには 15 ~ 20 分かかります。プロセスが終了するまで何も行わないでください。特に、スクリプトが完了するまでは、Workstation 2 の操作はしないでください。
4. AD スクリプトのリセット: AD1 サーバ(**198.18.133.1**)に RDP 接続します。ユーザ名: **DCLLOUD\administrator**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
5. タスクバーからファイル エクスプローラを開き、**C:\dcloud** に移動します。
6. ファイル **resetUPN.ps1** を右クリックし、[PowerShell で実行 (Run with PowerShell)] をクリックします。実行中は、次の図のようになります。完了するとウィンドウは自動的に閉じ、次の手順に進むことができます。



7. Exchange Email スクリプトのリセット: Exchange サーバ(198.18.135.52)に RDP 接続します。ユーザ名: DCLLOUD\administrator、パスワード: C1sco12345 でログインします。
8. タスクバーからファイル エクスプローラを開き、C:\dcloud に移動します。
9. ファイル reset_exchange.ps1 を右クリックし、[PowerShell で実行(Run with PowerShell)] をクリックします。実行中は、次の図のようになります。完了するとウィンドウは自動的に閉じ、次の手順に進むことができます。



10. ワークステーション 2 から Firefox ブラウザ セッションを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] > [Cisco Expressway – Control] の順にアクセスします。ユーザ名: admin、パスワード: dCloud123! でログインします。表示されるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。
11. [設定(Configuration)] > [ゾーン(Zones)] > [ゾーン(Zones)] タブをクリックし、2 つのトラバーサル クライアント ゾーンのいずれかをクリックします。設定の詳細情報に SIP ステータスが [失敗(Failed)] と表示されることを確認します。
12. ピア 1 アドレスは、vcse.(collabedge- または cb)999.dc-YY.com である必要があります。YY はデータセンターに依存し、01 は AMER、02 は EMEAR、03 は APJ です。

図 2. ゾーン設定

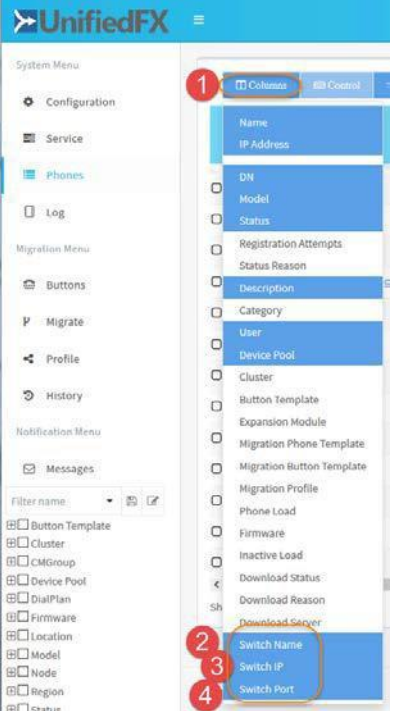


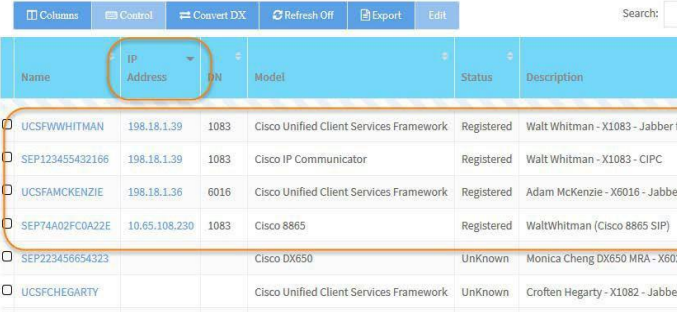
13. これで通常のデモ保存プロセスを続行できます。詳細については、Cisco dCloud の [ヘルプ ページ](#) を参照してください。

シナリオ 1: ゼロ タッチでの移行

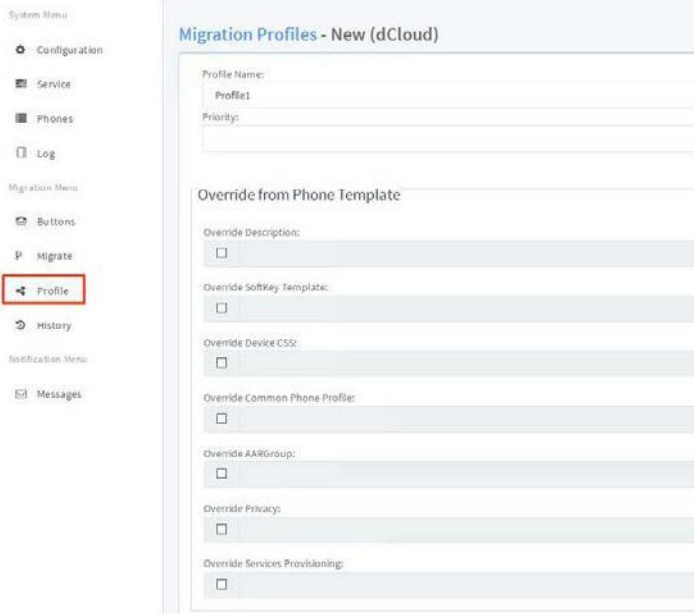
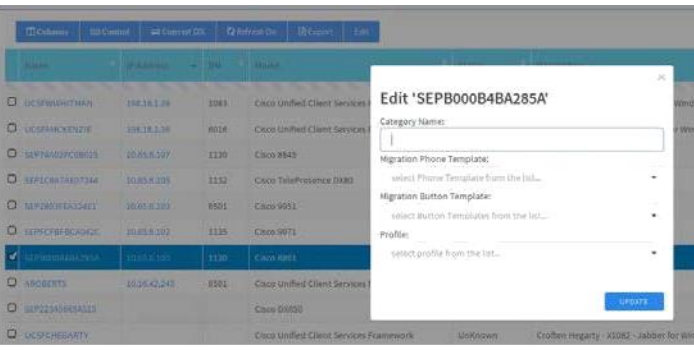
いくつかの簡単なステップで、組織を対象としたゼロ タッチでの移行を設定することができます。これにより、システムの管理者はエンド ユーザに電話を発送するだけで済み、後はエンド ユーザが移行を完了します。

デモンストレーションの手順

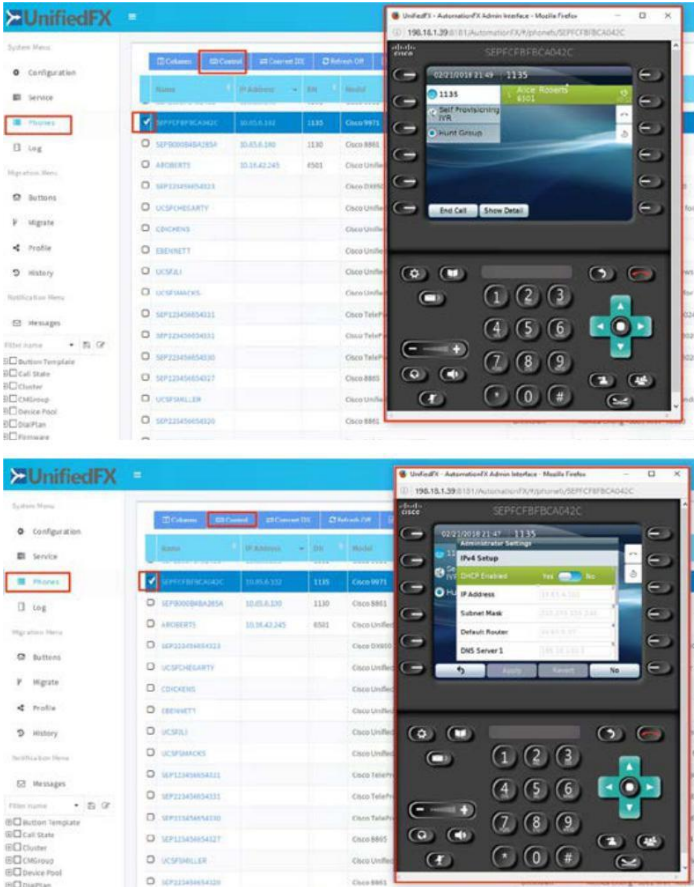
手順	説明の要点	アクション
1	<p>こんにちは、Walt Whitman です。私は Cisco UC エンジニアとして、ABC Company に勤務しています。私たちは、現在最新の Cisco Collaboration エンドポイントへの移行を進めています。</p> <p>これらのアップグレードを一度に行うために、私たちはエンジニアのチームを派遣するのではなく、新しい方法を試すことにしました。MigrationFX を使用することで、アップグレードされた電話が自動的に受け入れられるようにユーザ アカウントを設定できます。チームによる作業は必要ありません。エンド ユーザは古いデバイスを取り外して、新しいデバイスを接続するだけです。</p>	<p>CSR Workstation で(Walt Whitman として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> Firefox Web ブラウザを開き、ドロップダウン メニューから [コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [MigrationFX] の順に選択します。 wwhitman として、パスワード: dCloud12345! を使用してログインします。 <p>注: この Web サイトが読み込まれていない場合は、CSR ワークステーションのタスク バーで [サービス (Services)] をクリックします。AutomationFX サービスが実行されているかどうかを確認します。実行されていない場合は、該当する名前をクリックして、上部に表示される緑のボタンをクリックしてサービスを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 左側の [システム メニュー (System Menu)] で、[電話 (Phones)] をクリックします。 タブのタイトルで [列 (Columns)] をクリックし、[スイッチ名 (Switch Name)]、[スイッチ IP (Switch IP)]、および [スイッチポート (Switch Port)] をクリックします。メニュー外をクリックして閉じます。これらの名前の 3 つの列が追加されます。 

手順	説明の要点	アクション
2	<p>私は組織内のプロビジョニングされた電話をすべて表示して、アップグレードの前の状態を確認します。</p> <p>次に、Cisco UCM に移動して新しいデバイス テンプレートを設定します。このテンプレートは新しいデバイスに、MigrationFX ポータルに移動して設定を受け取るように指示するものです。</p> <p>私がこのわずかな更新を行った後、エンド ユーザは移行を開始することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> [IP アドレス (IP Address)] タブをクリックします。この操作により、グループ内のすべての電話が IP アドレスの順に並び替えられます。  <ul style="list-style-type: none"> 自分の電話が登録されていること、その電話の IP アドレスがスイッチ名、スイッチ IP、スイッチ ポートの各値とともに表示されていることを確認します。 <p>注: 列見出しはスクロール バーと一緒に移動しないので、右側の最後の 3 つの列が実際にその値であることを信頼する必要があります。列見出しが画面から消えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラウザで新しいタブを開き、[コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [Cisco Unified Communications Manager] の順に移動します。 wwhitman@dcloud.cisco.com として、パスワード: dCloud12345! を使用してログインします。 [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話機の追加 (User/Phone Add)] > [ユニバーサル デバイス テンプレート (Universal Device Template)] の順に移動します。 [検索 (Find)] をクリックして、デバイス テンプレートのリストを取得します。 [dCloud の自動登録のデバイス テンプレート (dCloud Auto-reg Device Template)] をクリックします。 [サービスの設定 (Service Configuration Settings)] を展開します。 [アイドル (Idle)] フィールドおよび [アイドル タイマー (Idle Timer)] フィールドを探します。ドロップダウンをクリックし、[オーバーライド (Override)] を選択します。 [アイドル (Idle)] フィールドに、http://198.18.1.39:8181/AutomationFX/trigger/Migration と入力します。 [アイドル タイマー (Idle Timer)] フィールドに 10 と入力します。 [保存 (Save)] をクリックします。

手順	説明の要点	アクション
3	<p>オプションのステップ: 必要に応じて、新しい電話または電話ボタンのテンプレートを定義できます。これは、対象となる特定の電話機の登録に使用する、対象モデルの電話機向けです。</p>	<p>テンプレート 移行した電話に適用したいカスタム電話ボタン テンプレート、電話テンプレート、またはプロファイルがある場合は、UnifiedFX を使用してそれらを簡単に適用できます。</p> <p>電話ボタン テンプレートを次のように作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドロップダウンから [デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)] を選択し、既存のテンプレートをコピーして、対象となる電話機モデルの新しい電話ボタン テンプレートを作成します。[検索 (Find)] をクリックし、使用している電話機モデルに適切なテンプレートをクリックしてこれを実行します。 [コピー (Copy)] ボタンをクリックし、テンプレートに新しい名前を付けます。[保存 (Save)] をクリックします。すべての回線、短縮ダイヤル、および設定を定義し、[保存 (Save)] をクリックします。 新しく作成された電話ボタン テンプレートの名前に注意してください。  <p>電話テンプレートを次のように作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話機 (Phones)] > [電話テンプレート (Phone Template)] をドロップダウンして、[新規の追加 (Add New)] をクリックして新しい電話テンプレートの作成を開始します。画面のプロンプトに従ってテンプレートを作成します。電話テンプレートの名前をメモし、[保存 (Save)] を実行します。電話ボタン テンプレートは必ず作成したものに設定します。

手順	説明の要点	アクション
4	<p>移行プロフィール</p> <p>もう1つの便利な機能は、移行プロフィールです。これにより、多くの利用可能なサイトや組織内のデバイスプールのいずれかから取得した、移行ユーザ用のカスタム機能を定義できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> [UnifiedFX] ページに戻ります。左側にあるプロフィール オプションをクリックし、次のページで [新規(New)] をクリックします。 複数のサイト/デバイス プールまたは CSS があり、それらを特定のニーズに合わせて移行ユーザに適用する場合は、ここで選択します。また、ここでカスタム電話テンプレートも適用できます。下へスクロールして、[保存(Save)] をクリックします。移行プロフィールの名前をメモします。  <ul style="list-style-type: none"> 左側の [電話機(Phones)] メニューをクリックします。ボックスで電話機が移行されていることを確認し、[編集(Edit)] をクリックします。 新しいウィンドウが開きます。カテゴリ名を「ユーザ(Users)」に設定し、上記の [移行ボタン テンプレート(Migration Button Template)] ドロップダウン メニューで作成したテンプレート名を選択します。 [更新(Update)] をクリックします。 

手順	説明の要点	アクション
5	<p>とてもシンプルな作業です。エンド ユーザは古い電話を取り外して、新しい電話を接続します。新しい電話が MigrationFX サービスによって認識され、設定とプロビジョニングされた機能が新しいデバイスに数分間で移行されます。操作の必要はありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 移行対象の電話を取り外し、新しい電話を同じポートに接続します。移行の完了中に、電話に以下のメッセージが表示されます。移行が完了するまで最大 5 分かかることがあります。(It may take up to 5 minutes for the migration to complete.) <ul style="list-style-type: none"> ○ リクエストが処理されるまでしばらくお待ちください。約 10 秒ほどかかります (Please wait while we process your request, this will take about 10 seconds) ○ 移行が進行中です。これには数分間かかる場合があります。その後、電話がリセットされます (Migration is in progress, this may take a few minutes and the phone will reset) ○ <old MAC#> から <new MAC#> への移行が成功しました (Migration successful from <old MAC#> to <new MAC#>) • 電話が移行されたら、設定が新しい電話にすべてコピーされていることを確認してください。新しい電話テンプレートまたはボタンテンプレートを定義した場合は、移行した電話機が目的のテンプレートで登録されていることを確認します。

手順	説明の要点	アクション
6	<p>PhoneFX</p> <p>PhoneFX を使用して電話機を制御できます。これはリモートで 1 日目または 2 日目の運用をリモートにサポートする場合に役立ちます。発信や着信、および電話機のプログラムされたボタンや機能のテストは、リモートで実行できます。これにより、移行サイトの場所に多くの出張をしなくて済むようになります。</p>	<p>UnifiedFX は PhoneFX をサポートするようになりました。これにより、物理的な電話の近くにいないときでも HTML 5 の機能を使用してそれを制御できます。すべての電話機の設定を制御し、コールをしたり応答したりできます。これはリモートで 1 日目または 2 日目の運用をリモートにサポートする場合に役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> PhoneFX にアクセスするには、UnifiedFX ページに移動して、[電話機(Phones)] をクリックします。 PhoneFX でアクセスする電話機にチェック マークを付け、[制御 (Control)] ボタンをクリックします。新しいブラウザ ウィンドウが開き、使用している電話機のモデルのような電話の画像が表示されます。 

シナリオ 2: 電話サービスとしての MigrationFX

何らかの理由で、デバイス テンプレートで MigrationFX URL を定義したくない場合や、ユーザが希望するときにユーザ自身でマイグレーション ツールを起動するようにしたい場合は、代わりに方法として MigrationFX を電話サービスとして使用することができます。

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	アクション
1	<p>こんにちは、Walt Whitman です。ABC Company の Cisco UC エンジニアです。</p> <p>私は ABC Company のあるグループに対して、別のプロセスを提供することになっています。このグループでは、Cisco UC クラスタ内でデバイス テンプレートを編集しないことを希望しています。</p> <p>でも、問題はありません。自動プロビジョニングによって、新しい電話に Cisco UCM から仮の内線番号が提供されます。</p> <p>新しい電話に切り替える準備ができたなら、ユーザが実行する必要があるのは [設定 (Settings)] ボタンをクリックして Migration FX を選択することだけです。この操作により移行をユーザの都合のよいときに完了できます。デバイス テンプレートに対する変更は必要ありません。</p>	<p>CSR Workstation で (Walt Whitman として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> 古い電話を取り外して、新しい電話を Cisco dCloud ルータの同じポートに接続します。 この電話は仮の内線番号 [11XX] を使用して登録されます。 この電話で、設定ボタンを押して、[Migration FX] を選択します。 これにより移行プロセスが開始され、以下のメッセージが表示されます。移行が完了するまで最大 5 分かかることがあります。(It may take up to 5 minutes for the migration to complete.) <ul style="list-style-type: none"> リクエストが処理されるまでしばらくお待ちください。約 10 秒ほどかかります (Please wait while we process your request, this will take about 10 seconds) 移行が進行中です。これには数分間かかる場合があります。その後、電話がリセットされます (Migration is in progress, this may take a few minutes and the phone will reset) <old MAC#> から <new MAC#> への移行が成功しました (Migration successful from <old MAC#> to <new MAC#>) 電話が移行されたら、設定が新しい電話にすべてコピーされていることを確認してください。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2018 年 7 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先